

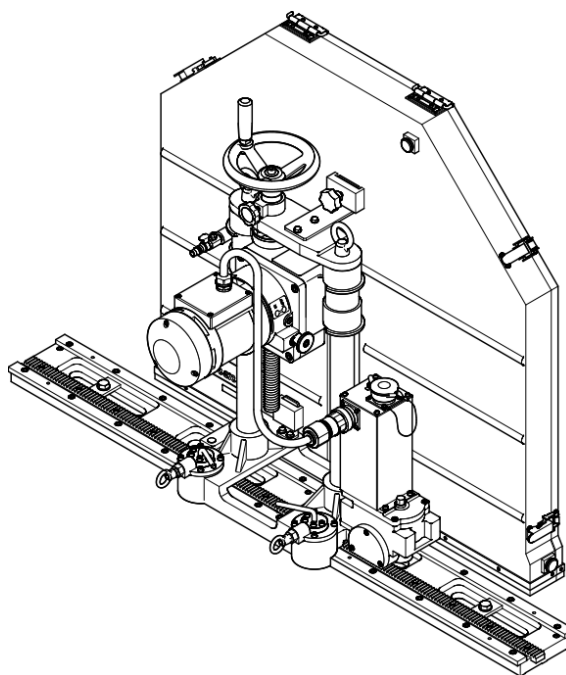


ダイヤモンドウォールカッター CDW-40AE (Pro)

取扱説明書



本製品は、水を使用する工具です。
かならず接地(アース)してください。



- ◎ このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。
- ◎ ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく安全に使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

CONSEC CORPORATION

接地(アース)について

本製品は給水式ダイヤモンドウォールカッターです。JIS規格により感電防止のために接地(アース)する必要があります。さらに内部構造は二重絶縁または強化絶縁構造になっており、より感電しにくくなっています。(参照 JIS C 9029-2-6)

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所などの周囲に迷惑をかけないように規制値以下で使用するため、状況に応じてしゃ音壁を設けてください。

注意文の「⚠警告」・「⚠注意」・「ポイント」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」・「⚠注意」と「ポイント」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

ポイント : 製品の据付け、使用方法、メンテナンスに関する重要な事項。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますから、必ず守ってください。

本文中では、「ダイヤモンドウォールカッター」のことを「ウォールカッター」と記述しています。

目次

1. 警告および注意	
【1】電動工具の安全上のご注意	2
【2】ウォールカッターの使用上のご注意	4
2. 各部の名称	7
3. 仕様	8
4. 標準付属品	8
5. 用途	9
6. オプション品（別売）	9
7. 使用時全体図および仕様	
【1】CDW-40AE（Pro）標準仕様	12
【2】二条切アタッチメント取付け（ブレード半カバー）仕様	14
8. 自動送りBE-31A（Pro）（オプション品）の操作方法	
【1】自動送り装置BE-31A（Pro）のパネル	15
【2】自動送り装置BE-31A（Pro）によるウォールカッターの操作方法	15
9. 使用方法	
【1】アンカー施工	17
【2】ウォールカッターの取付け	18
【3】ギヤドモータ回転速度の設定	19
【4】ダイヤモンドブレードの取付け	19
【5】自動送り装置BE-31Aの接続	19
【6】トラックレールの連結	20
【7】ブレードカバーの取付け	21
【8】給水の準備	21
【9】飛散水の処理対策	21
【10】切断作業（自動送り走行の場合）	22
【11】取りはずし作業	24
10. ウォールカッターの分離・組付け方法	
【1】ウォールカッターの分離方法	26
【2】ウォールカッターの組付け方法	26
11. ダイヤモンドブレードの取付け・取りはずし	
【1】ダイヤモンドブレードの取付け	27
【2】ダイヤモンドブレードの取りはずし	27
12. 作業中のトラブルと対策	
【1】作業中のトラブルと対策方法	28
【2】ダイヤモンドブレードがロックした場合の解決方法例	29
13. 点検・保守・修理	
【1】作業前点検	29
【2】定期点検	29
【3】保守	30
【4】修理について	31
14. 製品の保管	31

1. 警告および注意

- ◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「電動工具の安全上のご注意」「ウォールカッターの使用上のご注意」を必ず守ってください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

【1】電動工具の安全上のご注意

▲ 警 告

1. 指定された用途以外には使用しないでください。
2. 作業者以外は施工場所へ近づけないでください。
 - ◎ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
3. 施工場所の周囲状況も考慮してください。
 - ◎ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ◎ 施工場所は十分明るくしてください。
 - ◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ◎ ちらかった施工場所は、事故の原因となります。
4. きちんとした服装で作業してください。
 - ◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ◎ 滑り止めのついたゴム手袋と履物を着用してください。
 - ◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
5. 安全保護具を使用してください。
 - ◎ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ◎ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
7. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ◎ 電動工具を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
 - ◎ 回転物には手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
 - ◎ 可動部分や接続部分などに、手や足を挟まないように注意してください。
 - ◎ 疲れている場合は、使用しないでください。

▲ 警 告

8. 感電に注意してください。

- ◎ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
- ◎ 必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断装置の設置された電源を使用してください。
- ◎ 本製品は作業者を感電事故より守るために、二重絶縁構造を施してありますが、より安全を期するために、必ずゴム長靴・ゴム手袋を着用してください。

9. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◎ コードを持って電動工具を運ばないでください。
- ◎ コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
- ◎ コードを熱・油・角のとがった所に近づけないでください。

10. 指定の付属品やオプション品を使用してください。

- ◎ 本取扱説明書およびコンセックカタログに記載されている付属品や、オプション品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますから使用しないでください。

11. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◎ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動し、所定の機能を発揮するか確認してください。
- ◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ◎ 損傷・故障した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ◎ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
- ◎ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ◎ スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所で修理を行ってください。

12. 次の場合は電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ◎ 使用しない、または、修理する場合。
- ◎ 刃物などの付属品を交換する場合。
- ◎ その他危険が予想される場合。

13. 調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ◎ 電源を入れる前に、点検・調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

14. 電動工具は注意深く手入れをしてください。

- ◎ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ◎ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
- ◎ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

▲ 警 告

15. きちんと保管してください。
 - ◎ 乾燥した場所でお子様の手のとどかない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。
16. 不意な起動は避けてください。
 - ◎ 電源につないだ状態で運ばないでください。
 - ◎ プラグを電源に差込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ◎ 屋外で使用する場合、3芯キャブタイヤコードまたは、3芯キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ◎ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
19. 電動工具の修理は専門店で依頼してください。
 - ◎ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ◎ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
 - ◎ 修理は、必ずお買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお申し付けください。

【2】ウォールカッターの使用上のご注意

▲ 警 告

1. 必ず接地(アース)してください。
 - ◎ 故障や漏電の時、感電する原因になりますので、アース付プラグを電源コンセントに合わせて接地(アース)してください。
 - ◎ 接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源を使用してください。
 - ◎ 漏電遮断器や設置については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
2. 電線管・ガス管・水道管などの埋設物に注意してください。
 - ◎ 電気が流れている電線や電線管などに接触すると感電する恐れがあります。
 - ◎ 壁・床などに穴あけを行う場合は、埋設物のチェックを十分に行ってください。
3. 上向き作業はしないでください。
 - ◎ 本製品は必ず水を使用するため、上向きの切断は水がモータ内部に入り、ブレードカバー内部にたまり非常に危険です。絶対に上向き作業には使用しないでください。
4. 水が飛散する場合は、飛散水防止対策を行ってください。
 - ◎ 切断作業中に、メインモータ・フィードモータに水が飛散する場合は、ただちに作業を中止して飛散水防止対策を行ってください。

▲ 警 告

5. 貫通側の安全面に注意してください。
 - ◎ ダイヤモンドブレード貫通側は大変危険です。また、切削水が飛散したりすることがありますので、人や物に当たらないように、防護対策や処理方法を確実に行ってから、作業を始めてください。
6. 高所での作業は関係法令に従って作業してください。
 - ◎ 安全な足場を確保して、足場より1.5m以上での作業はしないでください。
 - ◎ 高所での作業の場合は、十分にスペースのあるしっかりした足場を確保してください。
 - ◎ 高所での作業の場合は、施工場所の下に人を入れないようにしてください。
7. ゴム手袋・ゴム長靴は必ず着用してください。
 - ◎ 本製品は水を使用しますので、作業中は必ずゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。
8. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯延長コードを使用してください。
 - ◎ アース線のない2芯延長コードですと、感電の原因になります。
9. 使用電源は銘板に表示してある電源を使用してください。
 - ◎ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
10. トラックレールは、しっかり固定してください。
 - ◎ 正しく固定することは非常に重要です。固定がきちんとは行われないと、切断中にガタつき、ダイヤモンドブレードが損傷する恐れがあります。また、ダイヤモンドブレードがかみこんで損傷する恐れがあります。
11. トラックレールからウォールカッターの脱落に注意してください。
 - ◎ 旋回レバーが閉方向に正しく固定されていないと、ローラがトラックレールのプレートから外れる恐れがあり大変危険です。
 - ◎ トラックレールの端面まで走行した場合、ウォールカッターのフィードギヤとトラックレールのラックギヤのかみあいがはずれると、ウォールカッターが落下する恐れがあり大変危険です。
12. ブレードカバーは必ず使用してください。
 - ◎ 水の飛散防止・ダイヤモンドブレードの破損によるけがの防止、及び巻き込まれ防止のためにも必ずブレードカバーは使用してください。
13. ブレードカバーをはずした状態で、ダイヤモンドブレードを回転させないでください。
 - ◎ 回転中のダイヤモンドブレードやブレード押さえには、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
14. モータの風穴をふさいだり、風穴に物を入れたりしないでください。
 - ◎ モータ焼損の原因となります。
15. 異常時にはただちにスイッチを切ってください。
 - ◎ 使用中にダイヤモンドブレードが止まったり、異音を発したときは、ただちにスイッチを切ってください。
16. 壁・床面の切断コンクリート片の落下、倒れなどに注意してください。
 - ◎ 壁・床面への開口部新設工事には、切断されたコンクリート片が落下、倒れないようチェーンブロックにて固定するなど安全対策を十分考慮した上で施工してください。

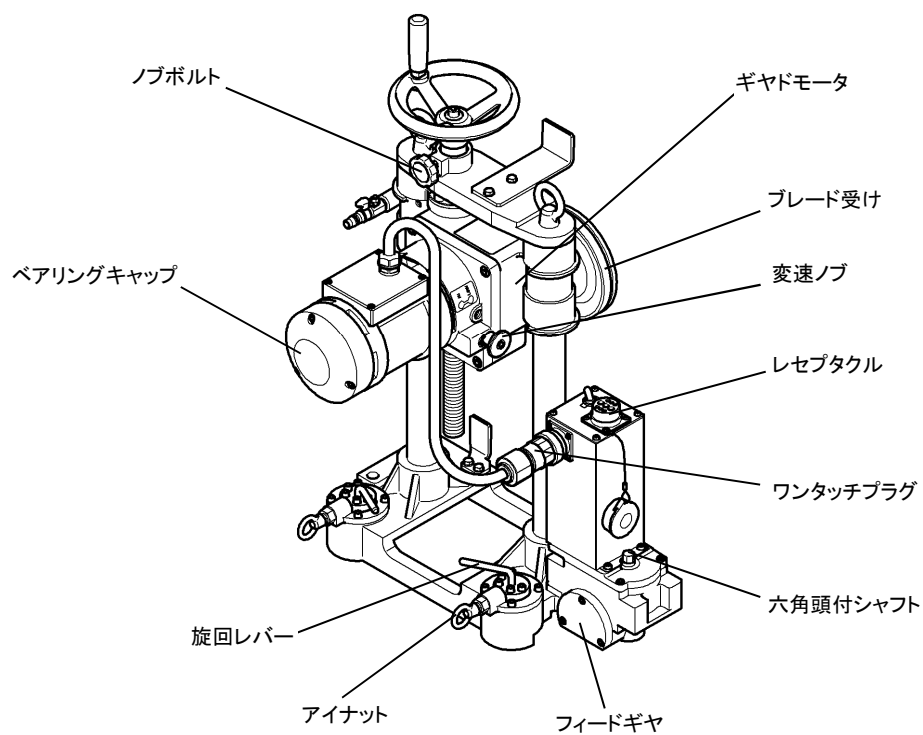
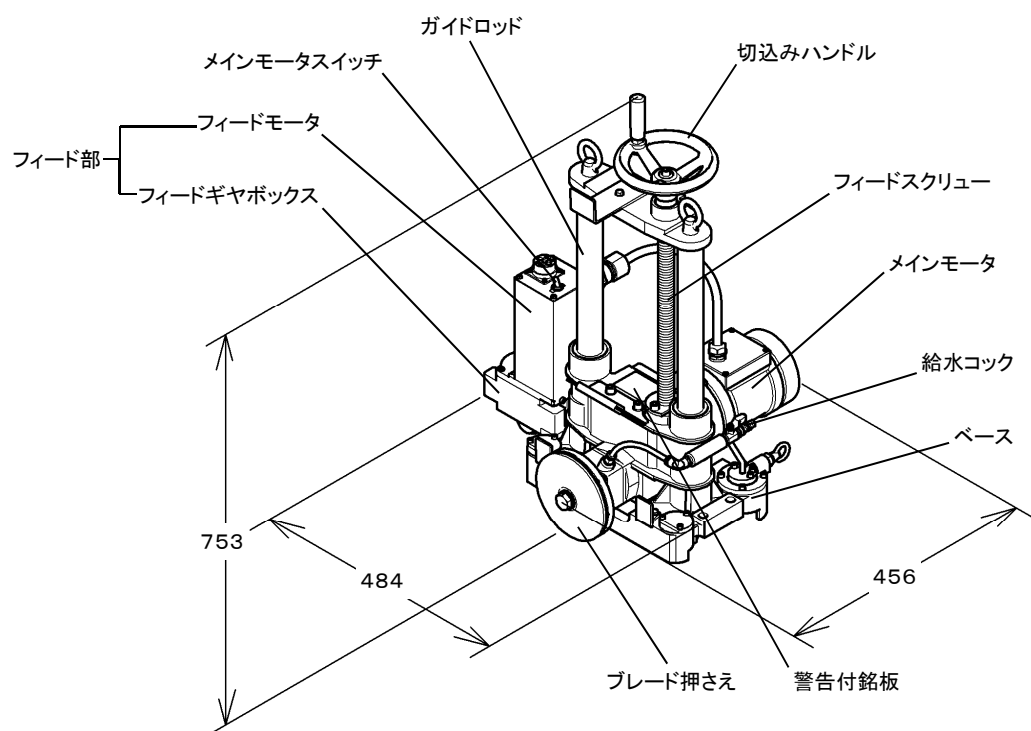
⚠ 注 意

1. 施工場所へは、トラックレールを最初に設置した後、ウォールカッターをトラックレールに取付けてください。
 - ◎ 壁面を水平方向に切断する場合は、メインモータが上側、ダイヤモンドブレードが下側になるようにトラックレールを設置してください。
2. トラックレールのレベル調整をしてください。
 - ◎ 六角棒レンチ(5mm)を使って、トラックレールの六角穴付止ねじ(1200LAの場合 10箇所)を上下させてトラックレールが歪まないようレベル調整してください。またトラックレールを2本以上連結させる場合は、つなぎ目がずれたり離れたりしないように、レベル調整してください。
3. ダイヤモンドブレードを使用してください。
 - ◎ 本製品はダイヤモンドブレードを使うように設計されています。ダイヤモンドブレード以外の刃物は使わないでください。
4. 切断するときは必ず給水を行ってください。
 - ◎ ダイヤモンドブレードは過熱すると、寿命が短くなり切削能率も低下しますので、必ず給水を行ってください。
 - ◎ 清水以外の水を使用すると、ウォールカッターなどの故障の原因となります。必ず清水を使用してください。
5. ダイヤモンドブレードが切断面に接した状態で、メインモータスイッチを入れないでください。
 - ◎ ダイヤモンドブレードやウォールカッターの破損の恐れがあります。
6. 切断作業は回転が上がってから行ってください。
 - ◎ 切断作業は、メインモータスイッチを入れ、ダイヤモンドブレードの回転が完全に上がってから行
7. 無理な切込みは避けてください。
 - ◎ 一度の切込み深さを大きくしますと、機械への負担が大きくなるばかりでなく、切断速度も遅くなりますので、無理な切込みは避けてください。
8. 切断は、できるだけ順方向切断(アップercut)を行ってください。
 - ◎ 逆方向切断(ダウンカット)では、ダイヤモンドブレードの回転により、ウォールカッターを送り方向に進めようとする力が働き、走行が安定せず、切断能率が低下することがあります。
9. 切断途中でダイヤモンドブレードの回転を止めたり、ダイヤモンドブレードをロックさせたりしないでください。
 - ◎ ダイヤモンドブレードの刃先の破損や、ウォールカッターの破損の恐れがあります。
10. 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の性能で支障なくご使用していただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
 - ◎ 使用できる延長コードの太さ(公称断面積)と最大長さの目安

公称断面積	電線の最大長さ	
	C D W - 4 0 A E	C D W - 4 0 A E P r o
3. 5 mm ² × 3 芯	2 0 m	3 0 m
5. 5 mm ² × 3 芯	3 0 m	4 5 m
8. 0 mm ² × 3 芯	4 5 m	7 0 m

11. 漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。

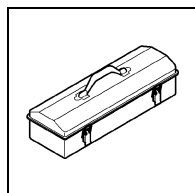
2. 各部の名称



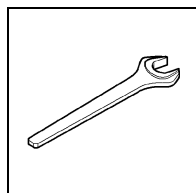
3. 仕様 (ギヤドモータ)

型式名		CDW-40AE	CDW-40AE Pro
モータ		単相直巻整流子モータ	
使用電源	周波数	単相交流 50／60Hz	
	定格電圧	115V	230V
定格電流		30A	15. 8A
定格出力		2400W	
無負荷回転速度		840／340min ⁻¹ (HI／LOW)	
最大ブレード径		1038mm(40")	
ブレード穴径		35mm	
最大切込み深さ	782mm(30")	312. 5mm(新品ブレード取付時)	
	1038mm(40")	439. 5mm(新品ブレード取付時)	
定格送り速度		632mm／min	
定格送り推力		1785N	
質量(コードを除く)		36. 5kg	
質量		37. 5kg	

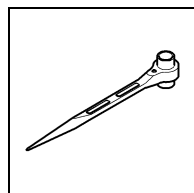
4. 標準付属品



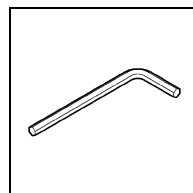
工具箱
Y-455
...1ヶ



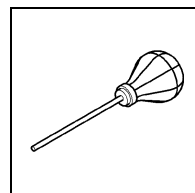
片口スパナ
24mm
...1ヶ



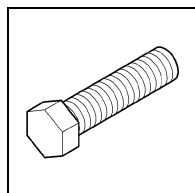
ラチェットレンチ
14×17mm
...1ヶ



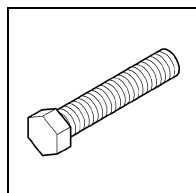
六角棒レンチ
5.6mm
...各1ヶ



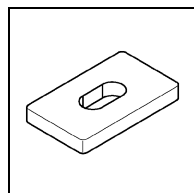
チリ吹き
...1ヶ



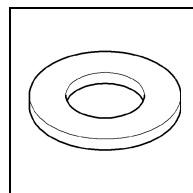
六角ボルト
W3/8×38mm
...8ヶ



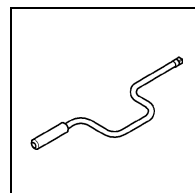
六角ボルト
W3/8×50mm
...8ヶ



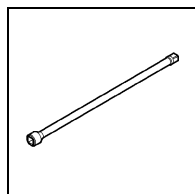
角座金
W3/8×50×30×t6
...8ヶ



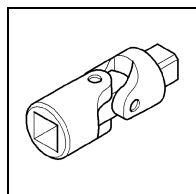
平座金
W3/8
...8ヶ



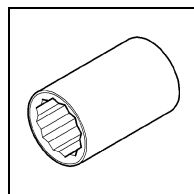
スプリング
204
...1ヶ



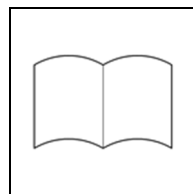
エクステンションバー
307
...1ヶ



ユニバーサルジョイント
208
...1ヶ



ソケット
3D-13
...1ヶ



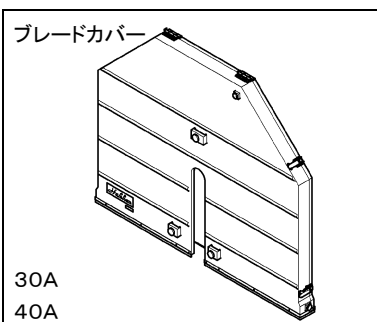
取扱説明書
...1ヶ

5. 用途

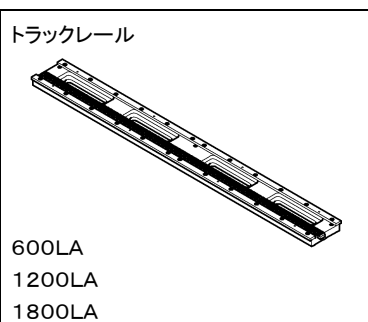
◎ 鉄筋コンクリート構造物の床面、および壁面（平面であること）の切断。

【例】鉄筋コンクリート構造物の開口部の製作。

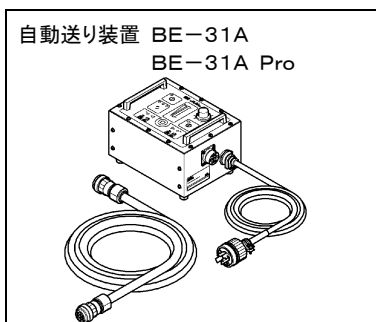
6. オプション品（別売）



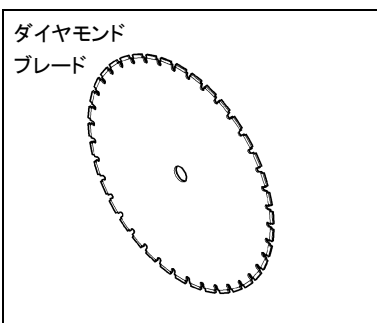
専用ブレードカバーで、サイズは、30”、40”用があります。



専用トラックレールで長さは、600L、1200L、1800Lの3種類があります。



CDW-40AE (Pro)と接続し、切断時のコントロールを行います。



CDW-40AE (Pro)用ブレードで、セグメントタイプです。

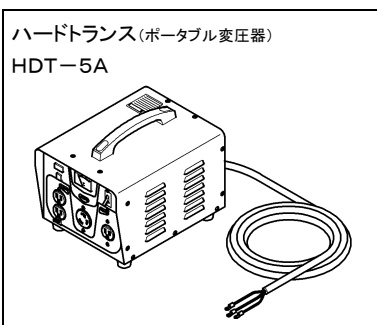
専用ダイヤモンドブレード			
呼 径	チップ先端外径[mm]	チップ寸法[mm]	軸径[mm]
30”	784	W5. 5×H11. 0	35
	768	W5. 5×H9. 0	
40”	1018	W5. 0×H9. 0	
	1038	W5. 5×H11. 0	

注意) 幹旋品です。

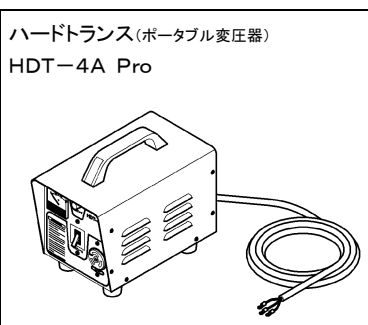
ダイヤモンドブレード			
呼 径	チップ先端外径[mm]	チップ寸法[mm]	軸径[mm]
24”	613	W5. 0×H7. 0	35
26”	CW-1 668	W5. 5×H9. 0	
	CW-2 666	W4. 5×H8. 0	
30”	CW-1 768	W5. 5×H9. 0	
	CW-2 766	W4. 0×H8. 0	

注意1) CW-2は薄刃消音タイプです。

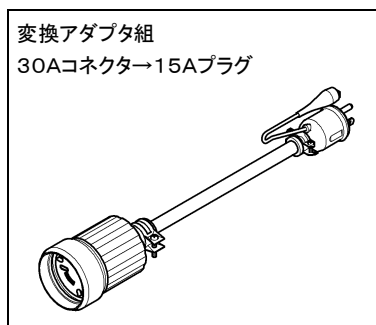
注意2) CW-1、CW-2をCDW-40AE (Pro) で使用すると、騒音が発生し寿命が大幅に短くなります。



200V電源から115V 30A(アメリカン電機製コンセント)が出力できます。5kVAの容量があり、100V、120Vの出力も可能です。

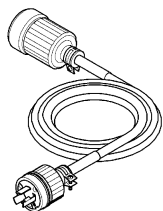


200V電源から230Vが出力できます。4kVAの容量があります。



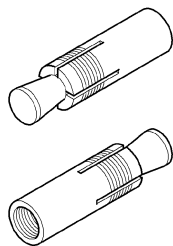
アメリカン電機製コネクタ(30A)を取付けた、15Aプラグからの変換アダプタです。

延長コード 10m
115V仕様:公称断面積5.5mm²
230V仕様:公称断面積3.5mm²



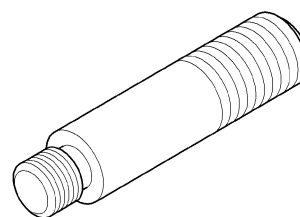
アメリカン電機製プラグ・コネクタを使用したBEシリーズ専用延長コードです。

カットアンカー
W3/8



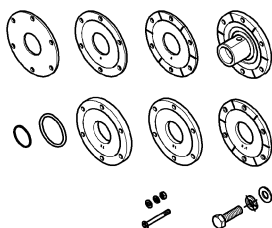
コンクリートなどに施工して、トラックレールを固定します。

打込みホルダー
W3/8



カットアンカーを打込むときに使用します。

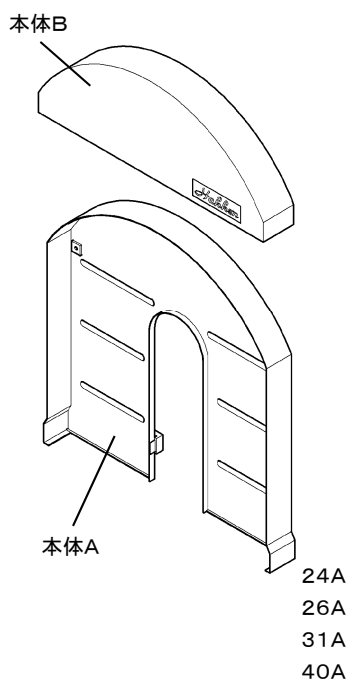
CDW二条切フレンジセット



名 称	規格・寸法	個数
ブレード受け	—	1
スペーサ	3mm黒	1
	5mm	2
	5mm溝	2
	7.5mm溝	1
	10mm	1
Oリング	15mm	1
	P-65	1
	S-46	1
六角ボルト(11T)	M16×55	1
ばね座金	16	1
平座金	16	1
皿ボルト	M8×70	6
ばね座金	8	6
平座金	8	6
六角ナット	M8	6
取扱説明書	—	1

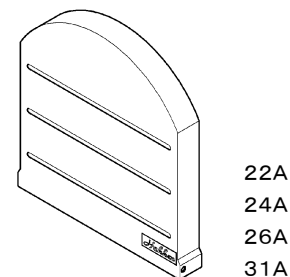
二条切りや、壁際切断のとき、標準のブレード受けを組替えて使用します。

二条切ブレード半カバー



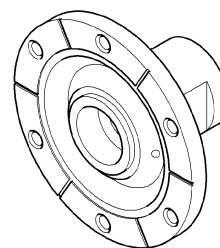
二条切りや、壁際切断するときに、使用します。サイズは、24”、26”、31”、40”があります。

二条切りブレード全カバー



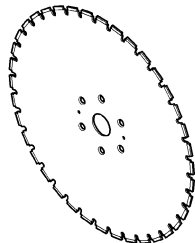
二条切りするときに使用します。サイズは、22”、24”、26”、31”があります。

際切り用ブレード受け



際切り切断するときに、使用します。

CDW二条切り
消音ブレード



二条切用で消音タイプのブレードです。

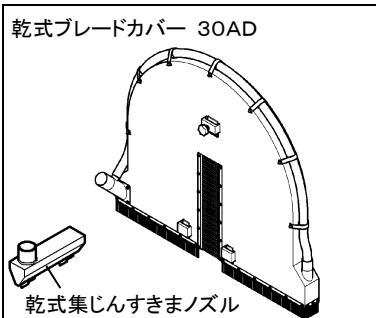
CDW二条切消音ブレード

呼 径	外径[mm]	チップ寸法[mm]	軸径[mm]
20"	518	W4.5×H9.0	50.8
22"	568		
24"	618		
26"	668		
30"	768		

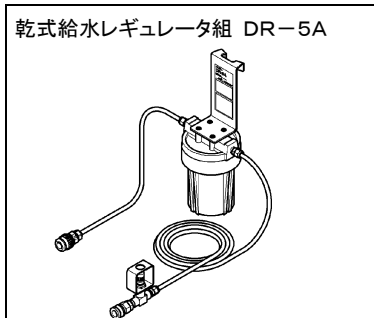
注意) 外径は、ダイヤモンドチップ先端の外径です。

◎ 乾式ウォールソーイングシステム専用オプション品です。

使用方法は「乾式ウォールソーイングシステム」の取扱説明書をお読みください。



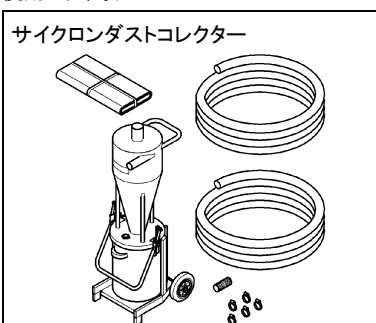
乾式ウォールソーイングシステム専用で、サイズは30”用です。
(付属の乾式集じんすきまノズルは縦方向の切断などの時に、切断溝に差し込んで使用します。)



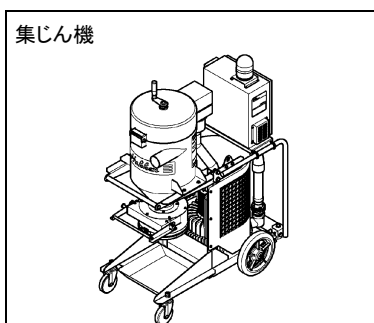
給水タンクT-13Aに取付けて、水のろ過および水量調整に使用します。



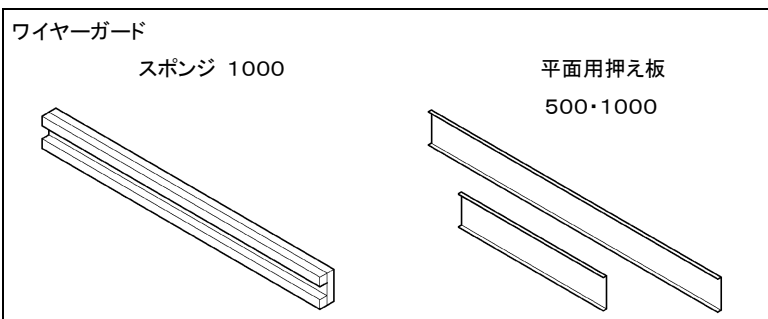
タンク容量は13.5Lで、給水量は10Lです。



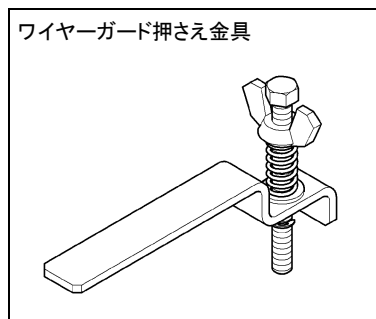
切り粉をガラ袋に収集するために使用します。



切断時の切り粉を外に漏らさず集じんします。



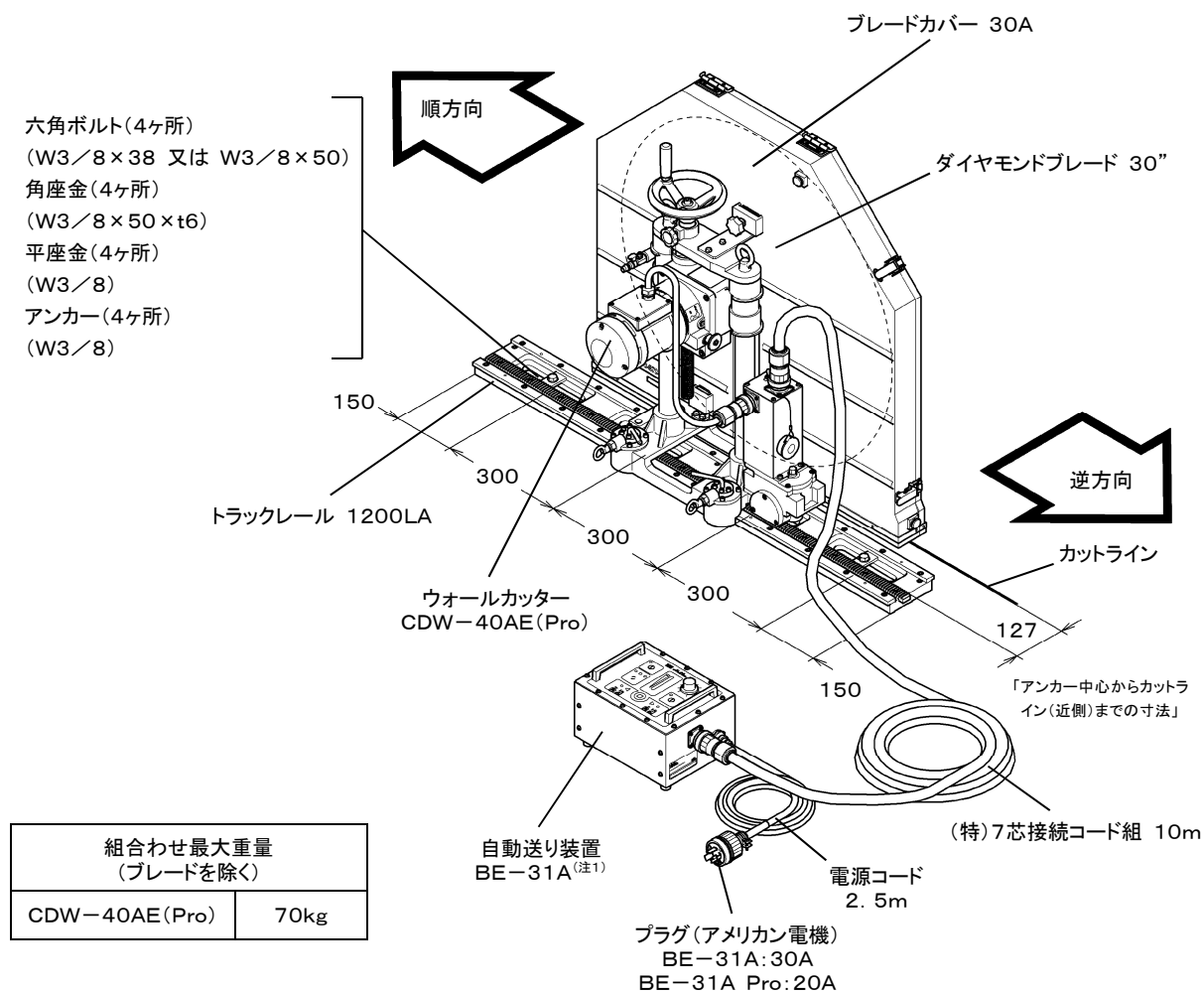
スポンジと押え板を併せて使用します。



ワイヤーガイドをワンタッチで固定することができます。

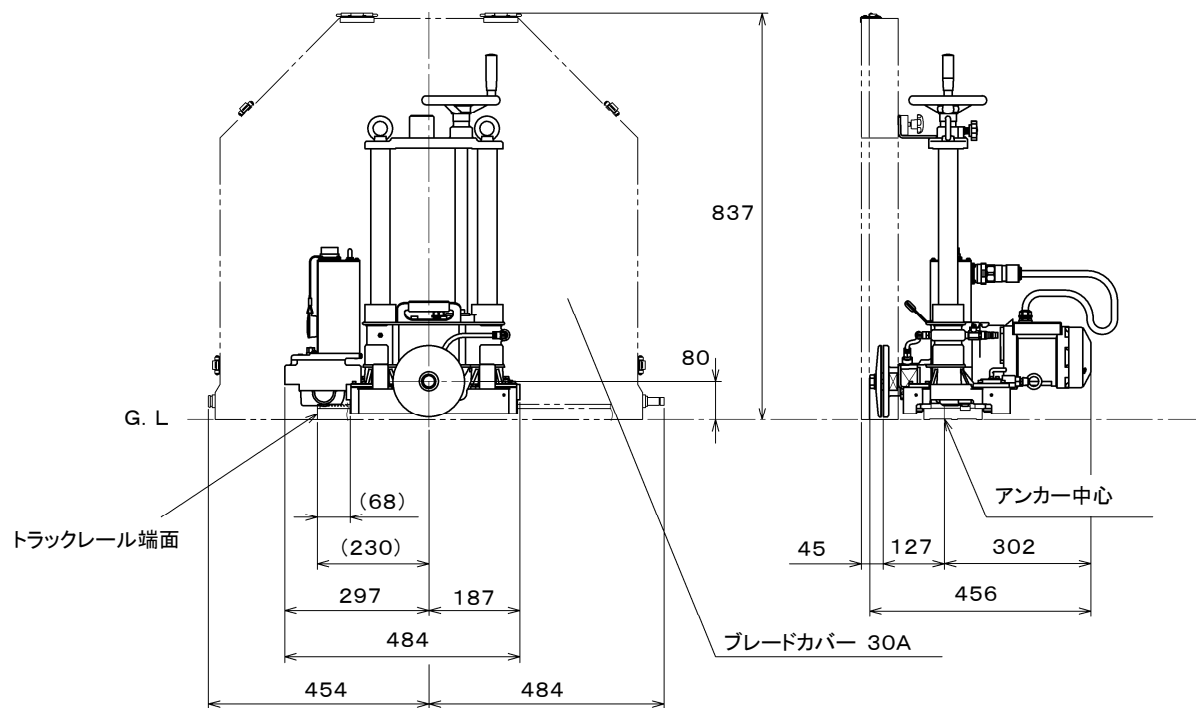
7. 使用時全体図および仕様

【1】CDW-40AE(Pro) 標準仕様

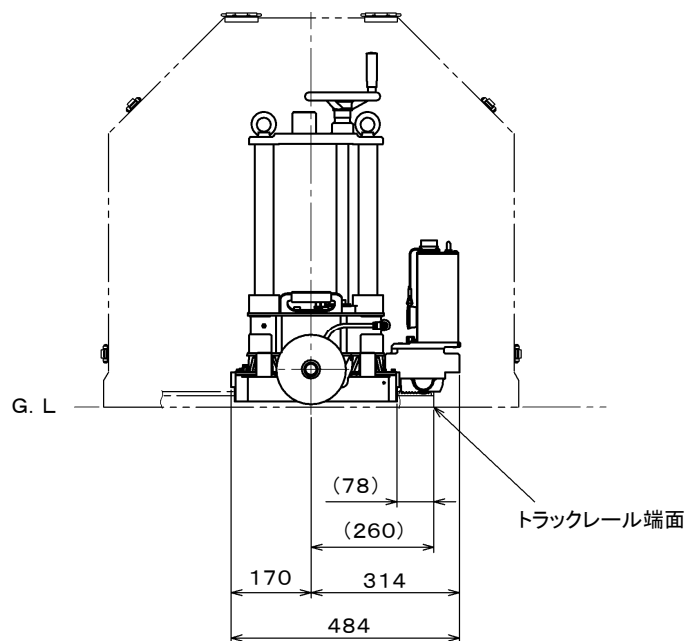


注1)Pro仕様はBE-31A Proとなります。

ブレード		切断幅[mm]		
呼径	外径[mm] (型式)	A	B	C (最大切込み深さD)
30"	768 (CW-1)	517	674	751 (D=304.5)
	766 (CW-2)	516	673	749 (D=303.5)
	768	517	674	751 (D=304.5)
	784	523	684	768 (D=312.5)
40"	1018	606	809	1006 (D=429.5)
	1038	613	819	1026 (D=439.5)

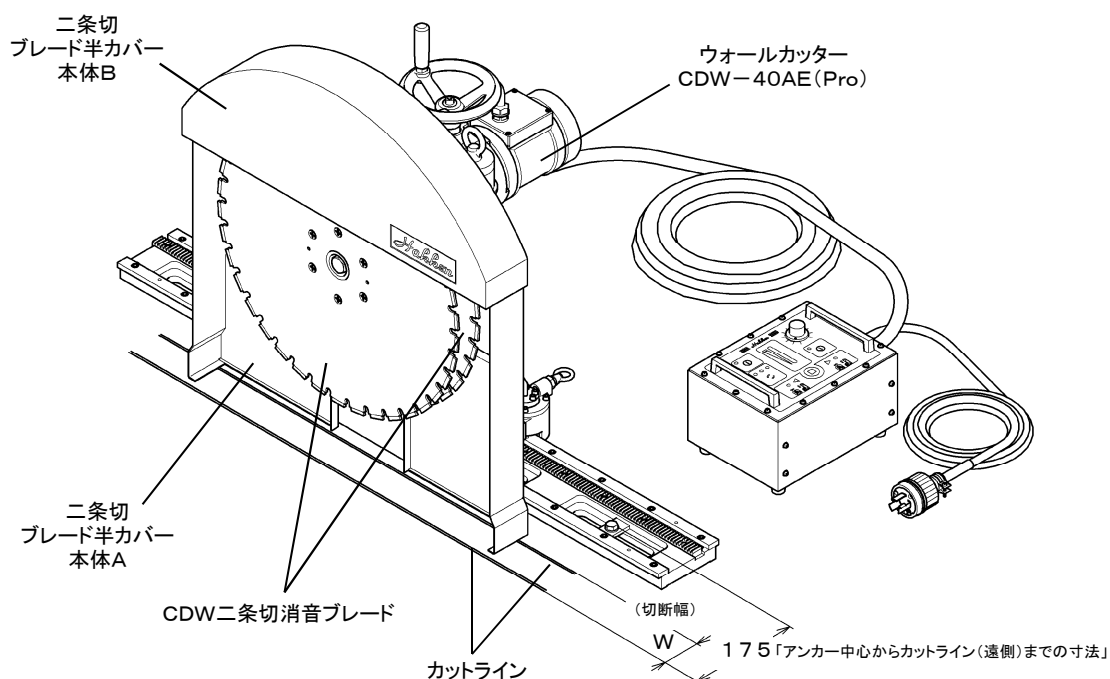


標準仕様

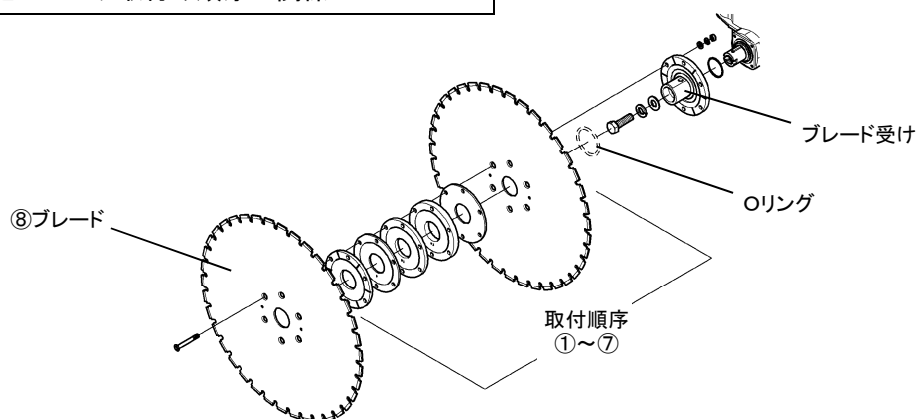


フィード部の位置を変更した場合

【2】二条切アタッチメント取付(ブレード半カバー)仕様



切断幅とスペーサ取付け順序の関係



切断幅 W	取付手順								
	○リング	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
50mm	無	ブレード	5mm溝	5mm	10mm	15mm	－	7. 5mm溝	ブレード
45mm	有	5mm溝	ブレード	5mm溝	10mm	15mm	－		
40mm		5mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	5mm	15mm		
35mm		10mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	15mm	－		
30mm		15mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	10mm	－		
25mm		5mm	15mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	5mm		
20mm		10mm	15mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	－		
1枚切断		3mm溝	5mm	5mm	10mm	15mm	－		

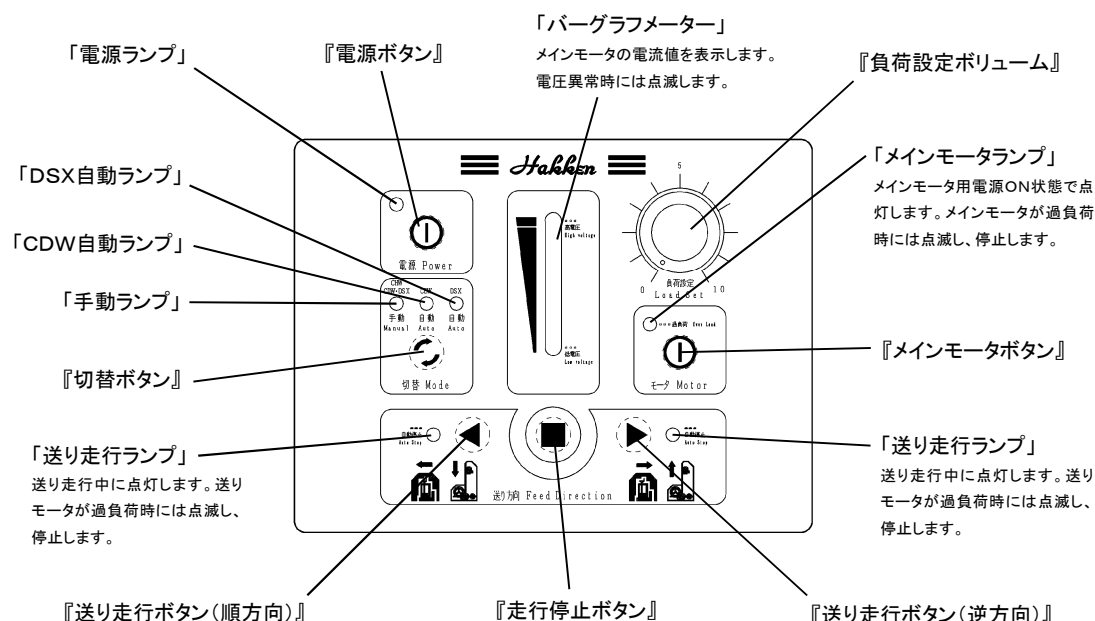
注意

1. 切断面に注水するため、5mm溝および7.5mm溝のブレードに接するスペーサは、溝のある面をブレードに接触するように取付けてください。
2. ブレード受けの取付けに、ラチェットレンチ24mmが必要です。

8. 自動送り装置BE-31A(Pro) (オプション品) の操作方法

◎ 鉄筋コンクリート構造物の床面、および壁面(平面であること)の切断。

【1】自動送り装置BE-31A(Pro)のパネル



【2】自動送り装置BE-31A(Pro)によるウォールカッターの操作方法

⚠ 警 告
1. 自動送り装置BE-31A(Pro)の操作は、ウォールカッターを使用する作業者が行ってください。 2. 遠隔操作を行う場合、ウォールカッター周辺の安全を確認した上で操作してください。

1. ウォールカッターのメインモータ起動・停止

- 1) 自動送り装置BE-31A(Pro)の『電源ボタン』を押して「ON」にしてください。(「電源ランプ」が点灯します。)
- 2) 『メインモータボタン』を押して「ON」にしてください。(「モータランプ」が点灯します。)ウォールカッターのメインモータが低速で起動します。約2秒で全速になります。

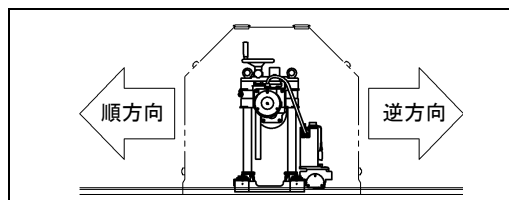
⚠ 注 意
自動送り装置BE-31A(Pro)にて操作する場合は、ウォールカッターの「メインモータスイッチ」を「ON」にしておいてください。

- 3) メインモータの回転を停止させるには、『メインモータボタン』を押して「OFF」にしてください。(「モータランプ」が消灯します。)また、『電源ボタン』を押して「OFF」にしても、停止させることができます。(「電源ランプ」が消灯します。)

2. ウォールカッターの自動送り走行

- 1) 自動送り装置BE-31A(Pro)の『電源ボタン』を押して「ON」にしてください。
- 2) 『切替ボタン』を押して、「CDW 自動ランプ」を点灯させてください。
- 3) 『負荷設定ボリューム』を、希望する位置に合わせてください。

- 4) 『送り走行ボタン(順方向)』または『送り走行ボタン(逆方向)』を押してください。
メインモータの負荷電流値を一定に保つよう(無筋切断と有筋切断を判別するなど)送り速度を自動調整します。



- 5) 「バーグラフメーター」を見ながら、『負荷設定ボリューム』で負荷設定を調整してください。

負荷設定 ボリューム位置		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
設定電流値	115V	15	16.5	18	19.5	21	22.5	24	25.5	27	28.5	30
	230V (Pro)	8	8.8	9.6	10.4	11.2	12	12.8	13.6	14.4	15.2	16

⚠ 注意

1. 「バーグラフメーター」が最上部(オレンジ色)に達する場合は、メインモータに過負荷が掛っていますので、『負荷設定ボリューム』を下げてください。
2. メインモータが停止している場合は、『負荷設定ボリューム』の位置に関係なく最大送り速度となります。

- 6) 送り走行のみを停止させるときは、『走行停止ボタン』を押してください。送り走行およびメインモータを停止させるときは、『電源ボタン』を押して「OFF」にしてください。(「電源ランプ」が消灯します。)

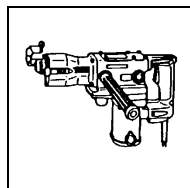
3. ウォールカッターの手動送り走行

- 1) 自動送り装置BE-31A(Pro)の『電源ボタン』を入れてください。
- 2) 『切替ボタン』を押して、「手動ランプ」を点灯させてください。
- 3) 『負荷設定ボリューム』を、「目盛0」に合わせてください。
- 4) 『送り走行ボタン(順方向)』または『送り走行ボタン(逆方向)』を押してください。
- 5) 「バーグラフメーター」を見ながら、メインモータの負荷が一定になるように『負荷設定ボリューム』で送り速度を調整してください。『負荷設定ボリューム』の位置に比例した送り速度になります。(0の位置で停止、10の位置で最大速度です)
- 6) 送り走行のみを停止させるときは、『走行停止ボタン』を押してください。送り走行およびメインモータを停止させるときは、『電源ボタン』を押して「OFF」にしてください。(「電源ランプ」が消灯します。)

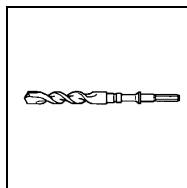
9. 使用方法

◎ 使用するハンマードリルの取扱説明書に従い作業してください。

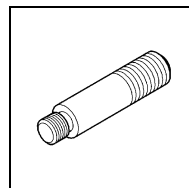
準備するもの



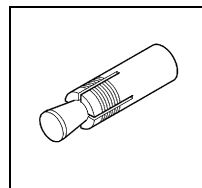
ハンマードリル
…1ヶ



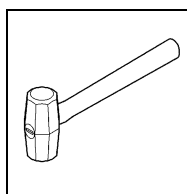
キリφ14.5
…1ヶ



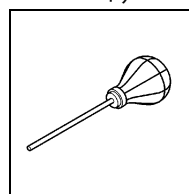
打込みホルダー
W3/8
…1ヶ



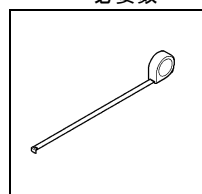
カットアンカー
W3/8
…必要数



ハンマー
…1ヶ



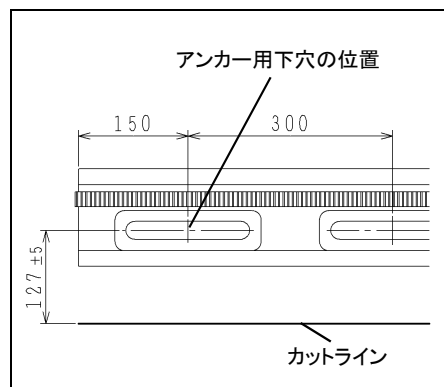
チリ吹き
…1ヶ



スケール
…1ヶ

【1】 アンカー施工

- 1) スケールにて、アンカー用下穴の位置を墨付けし、ハンマードリルで下穴(キリサイズ:14.5mm 穴あけ深さ:55mm)をあけてください。
- 2) チリ吹きで穴の中の切り粉を排除してください。
- 3) カットアンカーW3/8を穴の中に挿入してください。
- 4) カットアンカーW3/8を、打込みホルダーを使用して、ハンマーでしっかり打込んでください。

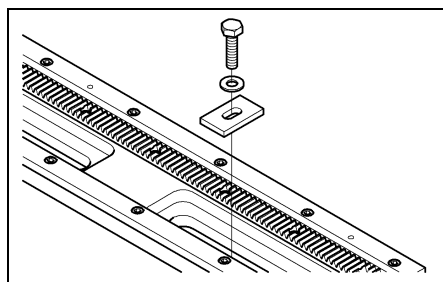


⚠ 警告

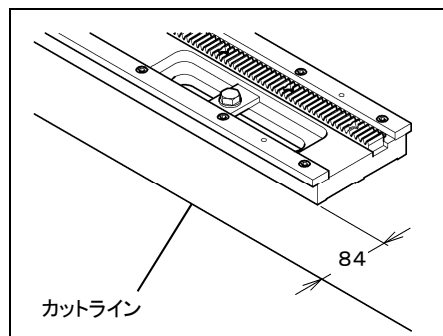
1. 安全の為、トラックレール 1200LA 1本につき、4ヶ所のカットアンカー固定を行ってください。600LAでは2ヶ所、1800LAでは6ヶ所となります。
2. 下穴の中の切り粉は、完全に排除してください。切り粉が残っていると、カットアンカーが抜けやすくなり大変危険です。
3. 打込み不足は、カットアンカーが抜けやすくなり大変危険です。
4. 当社指定のカットアンカーを使用してください。

【2】ウォールカッターの取付け

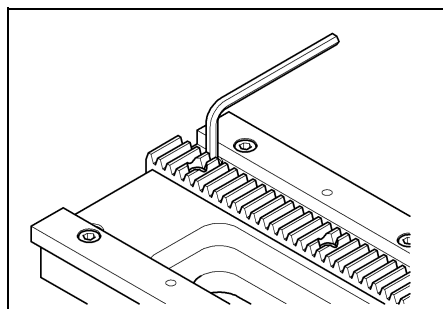
- 1) トラックレールを、角座金(W3/8×50×30×t6)と平座金(W3/8)と六角ボルト(W3/8×38mm または W3/8×50mm)で固定してください。



- 2) トラックレールの側面にスケールを当て、カットライン内側までが84mmになるように、位置調整してください。



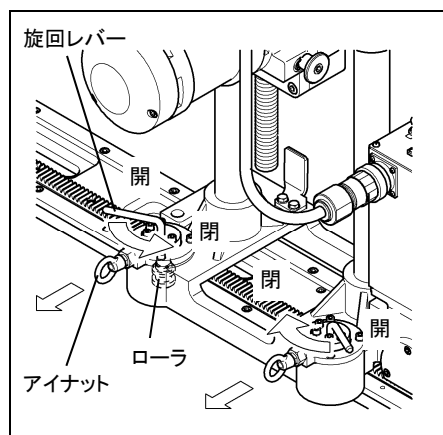
- 3) 六角棒レンチ(5mm)でレベル調整をし、トラックレールをしっかり固定してください。



- 4) ウォールカッターのベースに付いているアイナットを引いて旋回レバーを開方向(外向き)にまわしてください。

- 5) ウォールカッターを持ち上げ、トラックレールの任意の位置でプレートに、ベースのローラをはめ込んでください。

- 6) ウォールカッターのベースに付いているアイナットを引いて旋回レバーを閉方向(内向き)にまわしてください。



- 7) 4個のローラとトラックレールのプレートがかみあい、アイナットの先のピンが旋回レバーにはまり込んだことを確認してください。

⚠ 警告

1. 壁面取付けの場合は2人以上で行い、ウォールカッターが落下しないように注意してください。
2. 旋回レバーが閉方向に正しく固定されていないと、ローラがトラックレールのプレートから外れる恐れがあり大変危険です。

【3】ギヤドモータ回転速度の設定

- ◎ ギヤドモータの回転速度を、変速ノブを引上げてスライドさせ、LOW(低速)にしてください。

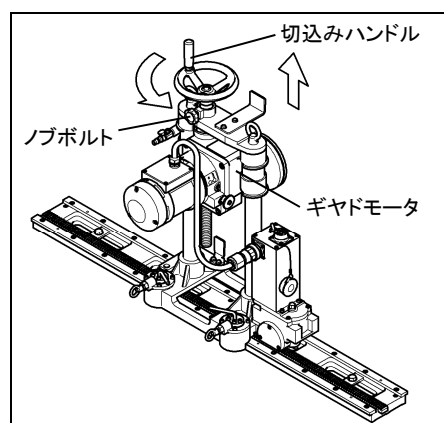
被削物やダイヤモンドブレード径によっては、HI(高速)にする場合もありますので、作業内容に応じて回転速度を選択してください。

⚠ 注意

変速ノブが動かしにくいときは、ブレード受けを少しずつ回しながら、動かしてください。

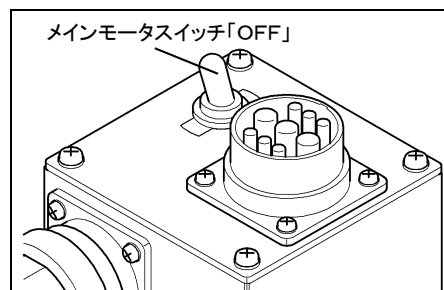
【4】ダイヤモンドブレードの取付け

- 1) 切込みハンドルを反時計周りにまわし、ギヤドモータを最上限位置にして、ノブボルトを締めて固定してください。
- 2) ダイヤモンドブレードを取付けてください。詳しくは、本書27ページ「ダイヤモンドブレードの取付け・取りはずし」を参照してください。



【5】自動送り装置BE-31A(Pro)の接続

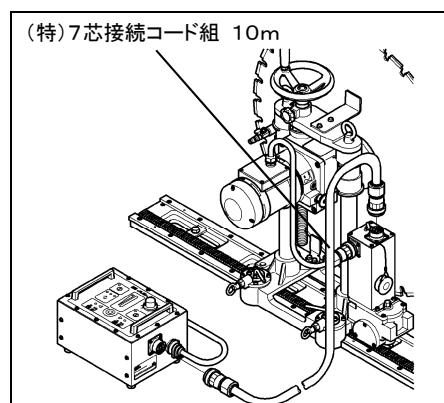
- 1) ウォールカッターのメインモータスイッチを「OFF」にしてください。



- 2) ウォールカッターと自動送り装置BE-31A(Pro)を、(特)7芯接続コード組 10mで接続してください。

- 3) 自動送り装置BE-31A(Pro)のプラグを電源に接続してください。

- BE-31Aは115Vコンセントに、BE-31A Proは230Vコンセントに差込んでください。
- 一般的なコンセントを使用する場合は、オプション品の変換アダプタ組を接続してから差込んでください。



⚠ 注意

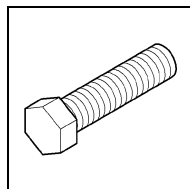
1. レセプタクルが濡れている場合は、十分乾燥させてから接続してください。
2. レセプタクルおよび周辺に付着しているゴミ等はきれいにふきとってから接続してください。

⚠ 警 告

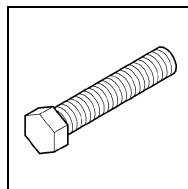
変換アダプタ組を使うときは、負荷電流15A以下で使用してください。負荷電流15A以上で連続使用をすると、変換アダプタ組のプラグが発熱し焼損する可能性があります。

【6】トラックレールの連結

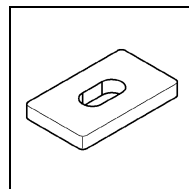
準備するもの



六角ボルト
W3/8 x 38mm
...必要数



六角ボルト
W3/8 x 50mm
...必要数

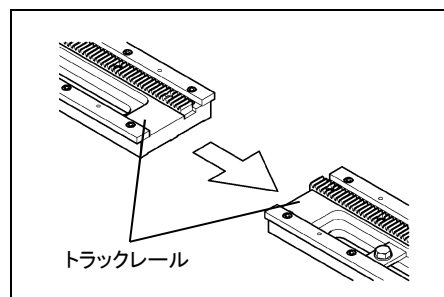


角座金
W3/8 x 50 x 30 x t6
...必要数

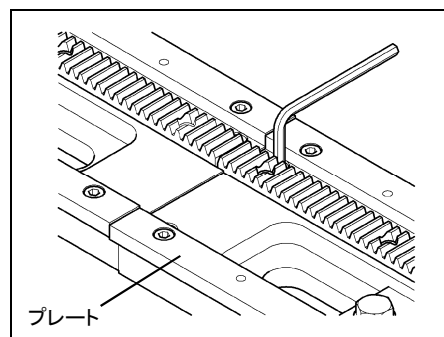
- 1) 本書17ページ「【1】アンカー施工」と同様に、トラックレールのアンカーを打込んでください。
- 2) ラックギヤを隣のトラックレールにはめ込んで、トラックレールの端面どうしを密着させて、角座金・平座金・六角ボルトで固定してください。

⚠ 警 告

壁面取付けの場合は、トラックレールが落下しないよう注意してください。



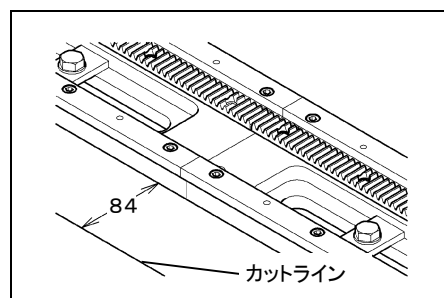
- 3) プレートの合わせ面に段差がある場合や、トラックレールと切断面が密着していない場合は、六角棒レンチ(5mm)でレベル調整してください。



- 4) トラックレールの側面にスケールを当て、カットライン内側までが84mmになるように、位置調整してください。

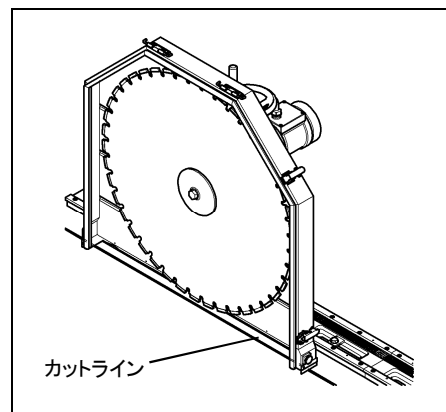
⚠ 注 意

トラックレールをハンマーなどで、直接たたかないでください。



- 5) ウォールカッターを試験走行させ、ダイヤモンドブレードがカットラインの位置に合うようにトラックレールを微調整してください。
(本書15ページ「【2】自動送り装置BE-31A(Pro)によるウォールカッターの操作方法」を参照してください。)

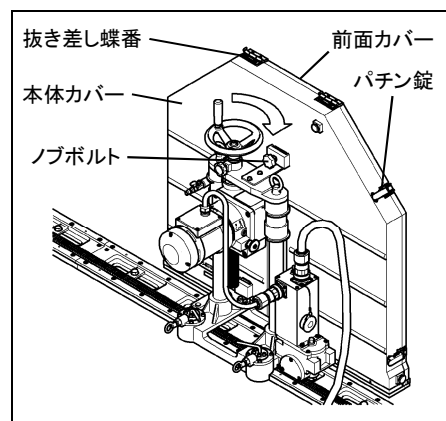
▲ 警 告
ダイヤモンドブレードは回転させないでください。 ウォールカッターのメインモータスイッチは「OFF」 にしておいてください。



- 6) トラックレールの六角ボルトをラチェットレンチで、しっかり締め固定してください。

【7】ブレードカバーの取付け

- 1) 本体カバーと前面カバーを合わせて、抜き差し蝶番・パチン錠にて固定してください。
- 2) ブレードカバーをウォールカッターに取付けて、ノブボルトで固定してください。



- 3) 必要に応じて排水口の位置を移動させ、排水用ホースの片側を排水口に接続し、ホースの反対側をバケツ等で受けます。

【8】給水準備

- ◎ 給水コックを閉じて水道からのホースを給水用カップラーまたはホースバンドで接続してください。

【9】飛散水の処理対策

1. 現場に応じた飛散水の処理対策

- ◎ 切削水が飛び散りますので、シートを張るなどの対策を行ってください。

▲ 注 意
貫通側の飛散水の処理対策も行ってください。

2. フィードモータへの飛散水の処理対策

- ◎ 給水をしながらいダイヤモンドブレードを回転させ、フィードモータに水が飛び散る場合、ダイヤモンドブレードを停止してから、飛散水の処理対策を行ってください。対策できない場合は、作業を中止してください。

⚠ 注 意
1. フィード部内のフィードモータや内部配線に水が入りますと故障の原因となります。 2. 壁面の垂直切断(上下方向切断)で、フィード部が下側にあるときは、特に注意してください。

【10】切断作業(自動送り走行の場合)

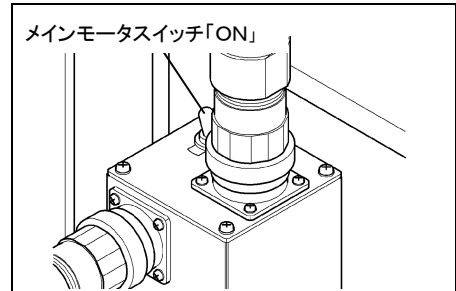
⚠ 警 告
切断作業中、ウォールカッターに異常が発生した場合は、自動送り装置BE-31A(Pro)の『電源ボタン』を押して「OFF」にして、作業を中止してください。

- 1) 水道の蛇口をあけ、給水コックを徐々に開き、給水量を調整してください。

⚠ 注 意
1分間に3リットル程度、給水してください。

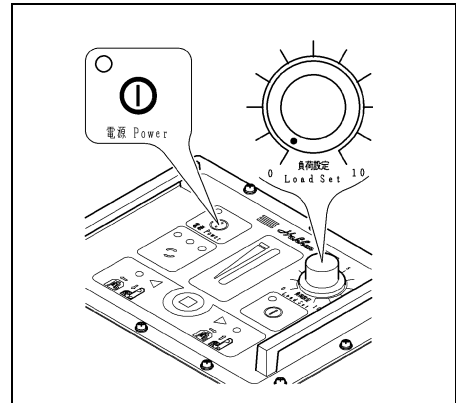
- 2) ウォールカッターのメインモータスイッチを「ON」にしてください。

⚠ 注 意
自動送り装置のBE-31A(Pro)の電源が「OFF」になっていることを確認してください。



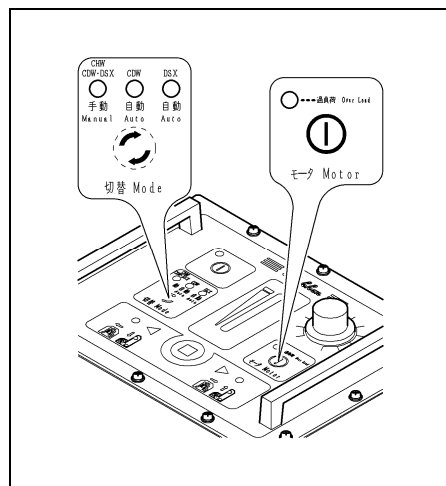
- 3) 自動送り装置BE-31A(Pro)の『負荷設定ボリューム』を希望する位置に合わせ、『電源ボタン』を押して「ON」にしてください。

⚠ 注 意
「バーグラフメーター」の上端ランプ(オレンジ色)または、下端ランプ(緑色)が点滅し、他のボタンを押しても操作できない場合は、電源電圧に異常があります。本書「作業中のトラブルと対策」の項を参照してください。



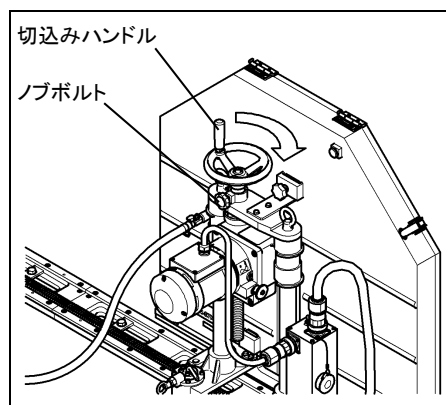
- 4) 自動送り装置BE-31A(Pro)の『切替ボタン』を押して、「CDW自動ランプ」を点灯させて、『モータボタン』を押して「ON」にして、ダイヤモンドブレードを回転させてください。ダイヤモンドブレードを回転させる時は、必ず自動送り装置BE-31Aの『モータボタン』を「ON」することにより行ってください。

⚠ 注意
ウォールカッター本体のメインモータスイッチを「ON」にしてダイヤモンドブレードを回転させると、ギヤドモータのクラッチがすべりクラッチの寿命を短くします。

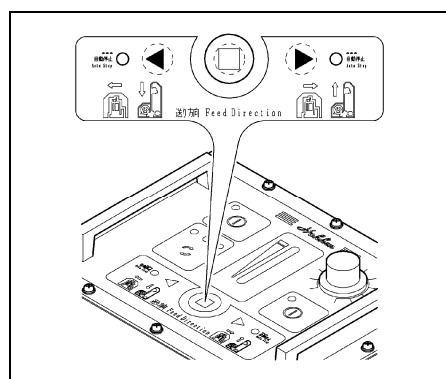


- 5) 切込みハンドルでダイヤモンドブレードを被削物へ切込み、ノブボルトを締込みハンドルを固定してください。
- 一度の切込み深さは、100mm以下にしてください。(切込みハンドル1回転当たり、5mm移動します)

⚠ 注意
一度の切込み深さを大きくしますと、機械への負担が大きくなるばかりでなく、切断速度も遅くなりますので無理な切込みは避けてください。

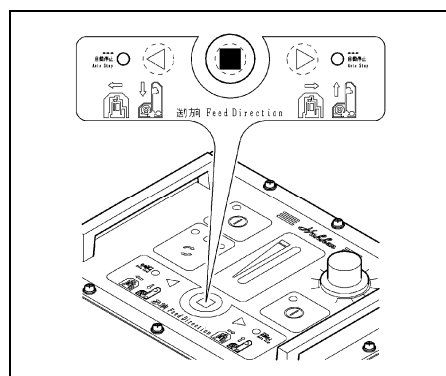


- 6) 自動送り装置BE-31A(Pro)の『送り走行ボタン(順方向)』または『送り走行ボタン(逆方向)』を押して切断走行させてください。



- 7) メインモータの音、ダイヤモンドブレードの回転状態、送り速度等の様子を見て、「バーグラフメーター」を見ながら『負荷設定ボリューム』で負荷設定を調整してください。

- 8) 必要距離を切断したら、自動送り装置BE-31A(Pro)の『走行停止ボタン』を押して、走行を停止させてください。



9) 以上の 5)～ 8) までの操作を繰り返し、所定の深さまで切断作業を続けてください。

10) ステップ切り(ダイヤモンドブレード30"以上)をする場合

- ①ブレードカバーとダイヤモンドブレードを取りはずします。
- ②切断している溝へ、ダイヤモンドブレード(30"以上)を入れてください。
- ③ダイヤモンドブレードが溝に入ったままの状態、ダイヤモンドブレードを取付けてください。詳しくは、本書27ページ「ダイヤモンドブレードの取付け・取りはずし」を参照してください。
- ④ダイヤモンドブレード径に合ったブレードカバーを取付けてください。

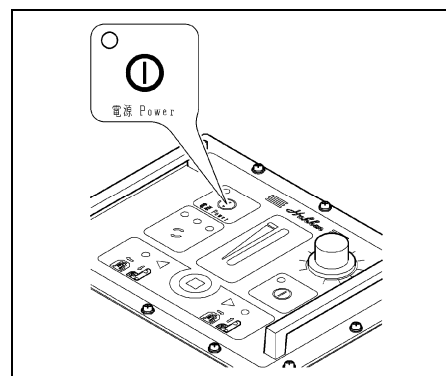
⚠ 警 告

ダイヤモンドブレードを交換するときは、必ずメインモータスイッチが「OFF」になっていることを確認し、自動送り装置BE-31A(Pro)のプラグを電源から抜いてください。

11) 切断作業が完了したら、切込みハンドルをまわして、ダイヤモンドブレードが被削物から出るまで引上

12) ウォールカッターのメインモータスイッチを切り、給水を止めてください。

13) 『電源ボタン』を押して「OFF」にして、すべての動作を停止させてください。



【11】取りはずし作業

- 1) 自動送り装置BE-31A(Pro)の電源プラグを電源から抜いてください。
- 2) 給水用のホースを取りはずしてください。
- 3) ブレードカバーを取りはずしてください。

⚠ 注 意

ブレードカバー内に残った切断水やヘドロがあふれ出ないように注意してください。

- 4) ダイヤモンドブレードを取りはずしてください。詳しくは、本書27ページ「ダイヤモンドブレードの取付け・取りはずし」を参照してください。
- 5) (特)7芯接続コード組 10mを取りはずしてください。

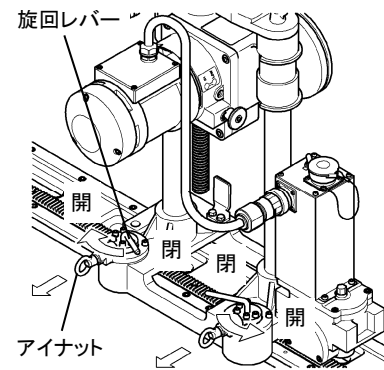
⚠ 警告

1. レセプタクルおよび周辺に付着している水分は、きれいに拭取ってから取りはずしてください。
2. 取りはずすときは、コードを引張って抜かないでください。
3. ウォールカッターのレセプタクルにはキャップを取付けてください。

- 6) ウォールカッターのベースに付いているアイナットを引いて旋回レバーを開方向にまわしてください。
- 7) ウォールカッターを持ち上げ、トラックレールから取りはずしてください。

⚠ 注意

壁面設置の場合は、必ず2人以上で取りはずしを行い、ウォールカッターが落下しないように注意してください。



- 8) トラックレールを取りはずしてください。

⚠ 警告

壁面設置の場合は、必ず2人以上で取りはずしを行い、トラックレールが落下しないように注意してください。

- 9) 切断部を清掃して完了です。

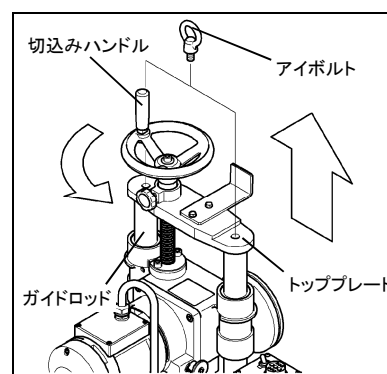
10. ウォールカッターの分離・組付け方法

⚠ 警告

ウォールカッターの分離・組付けのときは、万一の事故を防止するために、自動送り装置 BE-31A の電源プラグを電源から抜いてください。

【1】ウォールカッターの分離方法

- 1) メインモータのワンタッチプラグをはずしてください。
- 2) ラチェットレンチなどの工具を、アイボルトに引掛けてまわし、アイボルトをはずしてください。
- 3) 切込みハンドルでギヤドモータを最上限位置まで動かし、さらに切込みハンドルをまわして、切込みハンドル・トッププレートを取りはずしてください。
- 4) ギヤドモータをガイドロッドから抜き取ってください。



⚠ 警告

ウォールカッターを分離させる場合は、ベースを固定した状態で行わないと、ギヤドモータを抜き取る際にケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

ウォールカッターを分離させた状態で、運搬は行わないで下さい。各 부품の曲り、ゴミの付着等で故障の原因となります。

【2】ウォールカッターの組付け方法

◎ ウォールカッターの組付けは、上記分離と逆の手順で行ってください。

ポイント

1. ギヤドモータのガイドロッド差込み口内に、グリースがあることを確認して少なければ組付けた状態で、グリスニップルから補充してください。
2. スライド部分にゴミ等の付着を防止するため、分離した状態で長時間放置しないでください。

11. ダイヤモンドブレードの取付け・取りはずし

⚠ 警 告

ダイヤモンドブレードの取付け・取りはずしは、万一の事故を防止するために、自動送り装置 BE-31A の電源プラグを抜いてから行ってください。

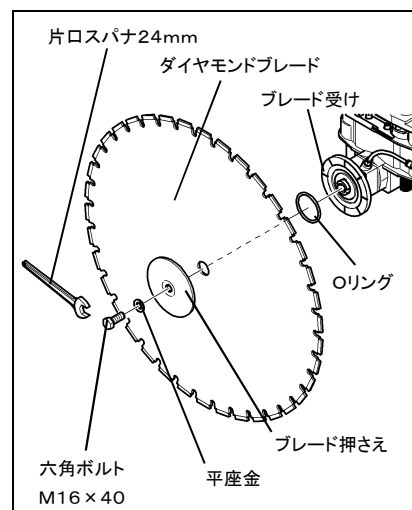
【1】ダイヤモンドブレードの取付け

1. ダイヤモンドブレード両面に給水する場合

- 1) 片ロスパナ(24mm)で、六角ボルト・平座金・ブレード押さえをはずしてください。
- 2) Oリングをはずして保管してください。
- 3) ダイヤモンドブレードを取付けてください。
- 4) ブレード押さえ・平座金・六角ボルトを取付け、片ロスパナ(24mm)で、六角ボルトをしっかり締付けてください。

⚠ 注 意

締付け不足の場合、ブレードがスリップし、ブレード押さえをいためてブレードがブレ、切断の直進性が低下します。



2. ダイヤモンドブレード片面(ブレード押さえ側)のみ給水する場合

- 1) 片ロスパナ(24mm)で、六角ボルト・平座金・ブレード押さえをはずしてください。
- 2) Oリングをブレード受けに取付けてください。
- 3) ブレードを取付けてください。
- 4) ブレード押さえ・平座金・六角ボルトを取付け、片ロスパナ(24mm)で、六角ボルトをしっかり締付けてください。

⚠ 警 告

水平切断でメインモータが下側になる場合は、メインモータへの飛散水の浸入を防止するため、必ずOリングを取付けてください。

⚠ 注 意

水平切断でメインモータが下側になる場合、片面のみ給水するとダイヤモンドブレードへの水まわりが悪くなりますので、無理な切断はしないでください。ダイヤモンドブレードが加熱して変形する恐れがあります。

【2】ダイヤモンドブレードの取りはずし

- ◎ ブレードの取りはずしは、上記取付けと逆の手順で行ってください。

12. 作業中のトラブルと対策

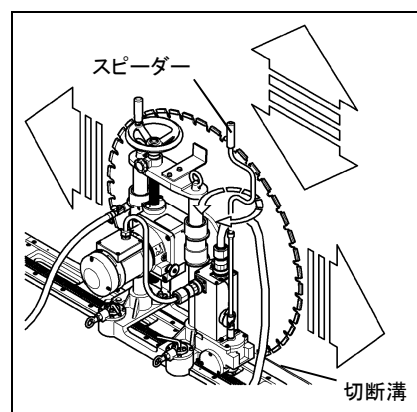
【1】作業中のトラブルと対策方法

- ◎ 作業中に異常を感じたら、ただちに作業を中止して安全な状態で、下表にて原因の調査を行ってください。

トラブル	原因	対策方法
自動送り装置BE-31A(Pro)の「バーグラフメータ」上端ランプ(オレンジ色)が点滅する	電源電圧が高すぎる BE-31A: 140V以上 BE-31A Pro: 260V以上	正常な電源に接続しなおす
自動送り装置BE-31A(Pro)の「バーグラフメータ」下端ランプ(グリーン色)が点滅する	電源電圧が低すぎる BE-31A: 78V以下 BE-31A Pro: 160V以下	正常な電源に接続しなおす 一時的な電圧降下の場合、電源電圧が正常に戻った後、『電源ボタン』を押して復帰(リセット)する
自動送り装置BE-31A(Pro)の「送り走行ランプ」が点滅する	フィードモータに無理がかかりすぎたため、過負荷保護装置が働いている	『走行停止ボタン』または、『電源ボタン』を押し、点滅を解除し、過負荷の原因を除く
ウォールカッターが停止した	ウォールカッターおよびブレードカバーが障害物に接触している	障害物を取除く
	トラックレールの固定に寸切ボルトなどを使用して、ボルトがベースにあたるなど走行障害になっている	ボルトを交換するか、寸切ボルトを締めなおしベースにあたらないようにする
	ローラまたはラックギヤにゴミが付着している	清掃または修理
	ラックギヤが破損している	修理
	トラックレールのスライド面が変形している	修理
自動送り装置BE-31A(Pro)の『送り走行ボタン』を押しても油圧ウォールカッターが走行しない	フィードギヤボックスが破損している	修理
	フィードモータの故障	修理
	(特)7芯接続コード組 10mの断線	修理
切込みハンドルがまわらない	ノブボルトが締まっている	ノブボルトをゆるめる
	フィードスクリューにゴミなどが付着している	フィードスクリューを掃除し、グリースを塗布する
切断速度が遅い	鉄筋を切断している	無理に力をかけずに切断する
	ダイヤモンドブレードのチップが摩耗している	新品交換
	ダイヤモンドブレードが切れない	コンセック各営業所に相談
振動がひどい	トラックレールの取付け不良	取付けをやりなおす
	ダイヤモンドブレードが変形している	修理
	メインシャフトが曲がり、芯ぶれている	修理
ダイヤモンドブレードがロックした	鉄片および混入された石などが、ダイヤモンドブレードと切断面の間にはさまっている	本書「ダイヤモンドブレードがロックした場合の解決方法例」を参照
	ダイヤモンドチップ側面が摩耗して、基盤と同じ厚さになっている	新品交換

【2】ダイヤモンドブレードがロックした場合の解決方法例

- 1) 自動送り装置BE-31A (Pro) の『電源ボタン』を押し「OFF」にして、プラグを電源から抜き、ブレードカバーを取りはずしてください。
- 2) 切込みハンドルを回してダイヤモンドブレードを上下させたり、スピーダー等でフィードギヤボックスの六角頭付シャフトを回して、ウォールカッターを送り方向に前後させながら、ダイヤモンドブレードを引き上げられる位置を探ってください。



⚠ 注意

送り方向への前後移動や、ダイヤモンドブレードの上下方向移動は無理な力をかけないでください。ダイヤモンドブレードのチップが脱落する恐れがあります。

- 3) 切断溝から、ロックの原因(鉄片、石など)をできるだけ取除いてください。
- 4) 再度、2) 3)を繰り返し、ダイヤモンドブレードを切断溝から引き上げてください。

13. 点検・保守・修理

⚠ 警告

点検・保守の際は必ずプラグを電源から抜いてから作業を行ってください。プラグを電源につないだまま保守等を行うと、感電や事故の原因になります。

【1】作業前点検

- ◎ ウォールカッター・ブレードカバー・トラックレール・ダイヤモンドブレードに、亀裂・破損はないか、ウォールカッターとトラックレールのスライドにガタ付きはないか、またコード被覆部・プラグに、亀裂・損傷はないか点検してください。異常があった場合、最寄りの「販売店または、コンセック各営業所」にお問い合わせください。

【2】定期点検

1. 各部取付ねじの点検

- ◎ 各部取付ねじのゆるみなどを定期的に点検し、ゆるんでいる所は締めなおしてください。

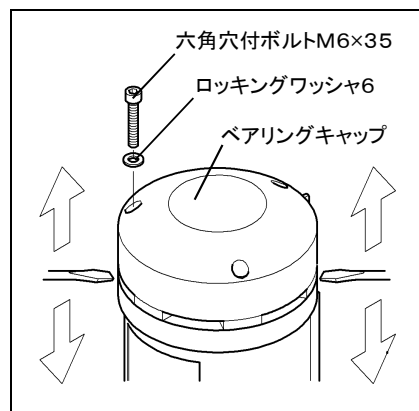
⚠ 注意

ゆるんだまま使用すると、事故などの原因となり大変危険です。

2. カーボンブラシの点検・交換

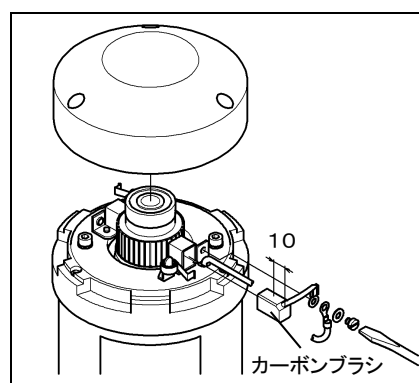
1) 点検方法

- ベアリングキャップ取付ねじ3本(六角穴付ボルトM6×35)を六角棒レンチ(5mm)ではずし、ベアリングキャップをはずします(取りにくい場合は、両サイドの隙間にマイナスドライバーを2本差込み、上下に動かす事により、はずれ易くなります)。その後、カーボンブラシを取出して摩耗状況などを確認してください。点検後は、ベアリングキャップをしっかりと締付けてください。



2) 点検項目

- カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モータ故障の原因となりますので、定期的に点検し、長さが摩耗限度線(10mm)くらいになりましたら、新品と交換してください。
- カーボンブラシはきれいにし、ブラシホルダー内で自由にすべるようにしておいてください。



⚠ 注意

1. 当社指定のカーボンブラシを使用してください。
2. Pro用と共通ではありません。

【3】保 守

- 1) ウォールカッターの外枠は、アルミや鉄などを使用しています。外枠の清掃の時は、乾いた布で拭いてください。
- 2) 使用後は、メインモータを無負荷運転させ、内部に風を送り、内部のゴミ・ほこりなどを排出してください。
- 3) ガイドロッドは、特にきれいにしておいてください。
- 4) ローラは、きれいにしておいてください。
- 5) フィードスクリューには、グリースを塗布しておいてください。
- 6) トラックレールのレベルボルトには、注油をしておいてください。
- 7) ブレードカバーは、前面カバーをはずして清掃してください。また、排水口のつまりを除去しておいてください。

【4】修理について

- ◎ 摩擦板の摩耗によりクラッチが滑りやすくなりましたら、最寄りの「販売店または、コンセック各営業所」に問い合わせ、再調整を依頼してください。
- ◎ 本製品は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をしないで、最寄りの「販売店または、コンセック各営業所」にお問い合わせください。
- ◎ その他、取扱い上でご不明な点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

14. 製品の保管

製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ◇お子様の手がとどいたり、簡単に持ち出せる場所
- ◇鍵のかからない場所
- ◇軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- ◇温度が急変する場所
- ◇直射日光のあたる場所
- ◇引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている製品の外観などの一部を予告なく変更している場合があります。



株式会社コンセック

本 社 〒 733-0833 広島市西区商工センター4-6-8
第二事業本部 TEL (082)277-5452 FAX (082)278-6389

型式名	CDW-40AE CDW-40AE Pro	検 印
製造番号		